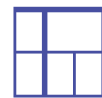


Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2025.5.28



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



ダニエル・ビュレン 《ファクシミリより場所へ》1991年 PHOTO SOUVENIR : ©DB+ADAGP PARIS

開館 30 周年記念コレクション展 VISION 星と星図

第1期 星図Ⅰ：社会と、世界と

2025年 6月21日〔土〕 - 9月15日〔月・祝〕

休館日： 月曜日（7月21日、8月11日、9月15日は開館）

開館時間： 午前10時—午後5時30分（入場は午後5時まで）

観覧料： 一般300円〔250円〕、高校・大学生200円〔150円〕、中学生以下無料

〔 〕内は20名以上の団体料金。

*その他観覧料の減免対象者については、当館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

豊田市美術館は今年で開館30周年を迎えます。この節目にあたり、当館では、「開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図」を開催し、6月から3月までの10カ月間を通してコレクションを見つめ直し、ここに新たな息吹を吹き込みたいと思います。展覧会は3つの会期から成り、各会期とも展示室1から展示室5の部屋ごとにそれぞれ、豊田市美術館を特徴づけてきた作品群や、当館展示室にあわせて制作されたインスタレーション作品を紹介します。個々の作品は、一つの星のように個別の性格をもった単独の存在でありながら、他の作品と関係し合い、像を結ぶことによって、複雑で豊かな星図を描き出します。この30周年の機会に、3つの会期をまたぎ、各部屋を横断しながら、大きな時代の流れとともに、時代や場所を越えて共有される複数の思考の糸を実感していただければと思います。

第1期(6月21日 - 9月15日 [月・祝])では、国内屈指のコレクションとされる戦後イタリア美術アルテ・ポーヴェラの作品や戦後ドイツ美術を導入として展示室1で紹介し、つづく展示室2で、同時代フランスの作家、ダニエル・ビュレンのインスタレーション作品《ファクシミリより場所へ》を22年ぶりに再設置します。さらに展示室3では、愛知を拠点、あるいは活動の出発点とした作家たちを取り上げ、展示室4では、昨年度に新収蔵した田村友一郎《TiOS》をこの部屋にあわせて再展示し、展示室5では当館開館初期に重点的に収集されたモダン・デザインのコレクションを中心に紹介します。芸術は政治・社会と少なからぬ関わりを持っています。とりわけ戦後イタリア、ドイツでは、急速に変化していく資本偏重の社会において、芸術がいかに存在し得るかが実践的に模索されました。一方、戦前へと時代を遡ってみれば、合理性や機能性を掲げたモダン・デザインこそは、社会と芸術との接合を目指す試みであったことがわかります。時代の転換期に芸術は、私たちに社会の実態をまざまざと開示してくれるものなのです。

1980年代から90年代初頭の一時期、愛知は現代美術の中心地といわれ、活況を呈しました。戦後ヨーロッパ美術を代表する作家たちの作品はこの地で大きく紹介され、一方で活動を始めたばかりの若き作家たちは、実際に作品に触れ、あるいはドイツをはじめ海外へと拠点を移したのちに、自らのスタイルを彼の地で確立していきました。展示室2のビュレンの作品は、2003年の個展以来、22年ぶりの再展示になります。長い月日が過ぎたいま、展示室4に初展示される田村の作品と併せてみれば、この数十年におけるインスタレーション作品の在り方の変化と、変わらぬ作品の強度を感じとることができるのではないのでしょうか。

展示室を行き来するなかで当館コレクションの豊かなバリエーションを実感していただき、また各部屋の作品を結ぶ様々な関係性についても思いを巡らせいただければと思います。



展覧会の見どころ

- 1 戦後ドイツにおいて常に社会と深く向き合い制作を続けてきたアンゼルム・キーファー。横幅560センチにおよぶ大作《飛べ! コフキコガネ》を11年ぶりに展示します。
- 2 当館の彫刻テラスに設置された作品が人気のダニエル・ビュレン。2003年の個展以来22年ぶりに、展示室2の空間にあわせて制作された《ファクシミリより場所へ》を再現展示します。
- 3 80年代後半～90年代半ばを現代アートの最前線といわれた愛知で過ごした作家たち。あるいは、その後拠点を海外に移して、その地で自分たちのスタイルを確立した作家たち。その動向をまとめて紹介します。
- 4 2023年開催の企画展「未完のはじまりー未来のヴンダーカンマー」にあわせて制作出品された田村友一郎の《TiOS》。昨年度、寄贈を受けた本作を、展示室4の空間にあわせて再構成して展示します。
- 5 当館の充実したモダン・デザインを一堂にご覧いただけます。ペーター・ベーレンスの工業製品など、日本の美術館でこれだけ充実したものはないでしょう。

関連事業

決まり次第、当館ウェブサイト等でお知らせいたします。

今後の展示

第2期 2025年10月4日〔土〕 - 12月21日〔日〕

第3期 2026年1月6日〔火〕 - 3月15日〔日〕

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| ● 展覧会に関すること | 学芸担当：千葉、石田 | Tel 0565-34-3131 |
| ● 掲載依頼・取材等に関すること | 広報担当：西本、籠谷（こもりや） | Tel 0565-34-3131 |



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図 第1期「星図Ⅰ：社会と、世界と」 広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 広報担当 西本、籠谷（こもりや）
Tel 0565-34-3131 Fax 0565-36-5103
e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel	Fax	
e-mail	必要な画像等の番号	

掲載紙／メディア名	発売、放送予定日



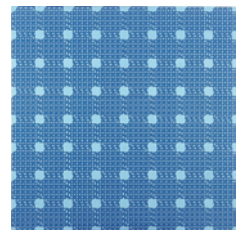
1



2



3



4



5



6



7



8

1. アンゼルム・キーファー《飛べ! コフキコガネ》1990年
 2. マリオ・メルツ《明晰と不分明/不分明と明晰》1988年
 3. ダニエル・ビュレン《ファクシミリより場所へ》1991年 PHOTO SOUVENIR : ©DB+AOAGP PARIS
 4. 額田宣彦《ジャングル・ジム (97-26)》1997-98年
 5. 長谷川繁《タイトル無し》1998年
 6. 田村友一郎《TiOS》2024年
 7. ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ《アームチェア (MR 534) 》デザイン年：1927年、製作年：1932年
 8. ペーター・ペーレンス《電気湯沸かし器》デザイン年：1909年（ペーター・ペーレンス）、製造期間：1909-32年（AEG社）
- 以上すべて豊田市美術館蔵

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・キャプション、クレジットを必ず添えてください。
- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。
- ・本展のご紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。